



第12号 発行所 小田原市役所 小田原市幸1の138 編集兼発行人 小泉重雄 印刷人 石橋貞吉 定価 一部三圓

4月の地方選挙

四月に開行される地方選挙は、本市では、来る四月二日、四月三日、四月四日の三日間にわたって行われる。

あなたの意志を

選挙は、市民としての当然の義務であるといえる。選挙権は、権利であると同時に道徳上の義務と見られるのである。

この選挙は、立派な市民、住みよい郷土を作らねばならないという国民的愛情の問題なのである。

正しい常識と、強い責任感をもつて、来る四月二十三日、三十日の選挙にのぞみましょう。

補充名簿の調製

申告期間 四月三日～四月九日

今度の地方選挙には、昨年度九月十五日現在で調製された基本選挙人名簿と、それ以後、今度の選挙のために、新たに選挙人名簿を登録することになった人を登録する補充選挙人名簿が用いられる。

最近の火災原因について

消防本部 火災はその殆んどが人間電気が原因のソケットの不注意に起因する。

買上償還を行

つております 昨年度四月以来、政府及び金融機関を除き、個人が所有する国債の償還が実施され、戦時中隣組や職域を通じて購入された

供米成績に対

する祝辞 二十五年産米の供出は生産農家の涙ぐましい努力で昨年十二月二十七日日本市制当量一、七〇一石三斗を完遂した。

愛林緑化運動

四月一日～七日 緑の愛育の日

一日 樹の緑の日
二日 家庭緑の日
三日 職場緑の日
四日 山の緑の日
五日 交通緑の日
六日 学校緑の日

肥料相談所の

利用 昭和二十六年二月十六日 小田原市農業指導所

産共進会

盛況裡に終了 (前号「畜産共進会」開催参照)

出生届につ

いて 赤ちゃんと生まれた時は、出生届を提出する。

農村副業の

王座 「椎茸の栽培」 農村副業の王座として椎茸の栽培は、東北地方の津久井、愛甲地区では早くから普及していたが朝

地方選挙は、私達の身近な市政、県政へ私達の意志を反映させ、健全な地方自治を実現するために重要な機会です。

「住民による政治」とは、住民が自分達の中から代表者を選び、選ばれた代表者たちがその住民の意志に基づいて政治を行う事を指すのであります。

この選挙は、立派な市民、住みよい郷土を作らねばならないという国民的愛情の問題なのである。

正しい常識と、強い責任感をもつて、来る四月二十三日、三十日の選挙にのぞみましょう。

今度の地方選挙には、昨年度九月十五日現在で調製された基本選挙人名簿と、それ以後、今度の選挙のために、新たに選挙人名簿を登録することになった人を登録する補充選挙人名簿が用いられる。

火災はその殆んどが人間電気が原因のソケットの不注意に起因する。それを元通り差し込んで再び電気が流れるのを防ぐために、電線を適切に配線し、電圧を適切に調整する必要がある。

昨年度四月以来、政府及び金融機関を除き、個人が所有する国債の償還が実施され、戦時中隣組や職域を通じて購入された国債の償還が行われております。

二十五年産米の供出は生産農家の涙ぐましい努力で昨年十二月二十七日日本市制当量一、七〇一石三斗を完遂した。

緑の愛育の日 四月一日～七日 緑の愛育の日

肥料相談所の利用 昭和二十六年二月十六日 小田原市農業指導所

産共進会 盛況裡に終了 (前号「畜産共進会」開催参照)

出生届について 赤ちゃんと生まれた時は、出生届を提出する。

農村副業の王座 「椎茸の栽培」 農村副業の王座として椎茸の栽培は、東北地方の津久井、愛甲地区では早くから普及していたが朝

衛生便り

衛生

一、全国赤ちやんコンクール開催
二、定期デフテリア予防接種開始
三、赤痢は夏から秋にかけて発生する病気だといふ...

提出議案一九件を可決
一月定例市議会開会
昭和二十五年追加更正月二十八日午後一時四十分...

常任委員会

の動き
○総務委員会
開会月日 二月二十一日
○建設委員会
開会月日 二月二十日

小田原市広報委員会
小田原市役所内
国民健康保険の知識
四月一日から本委員会が...

国民健康保険の知識

一、国民健康保険とは「国民の健康を保全するために、国民が共同して定める法律による共済制度」である...

二、健康保険の被保険者
三、特別国民健康保険
四、法令により組織する共済組合であつて...